

校内別室で心のエネルギーを充電し、学級へ！

不登校児童の状況

対象児童は、今年度より学級に入れない状況が続き、校内別室で過ごすこととなった。当該児童や保護者と、校内別室での過ごし方等を共有することで、日々の生活をめあてをもって過ごすことができるようになった。その後、学級や専科の授業にも参加できるようになり、最終的には学級に戻れるようになった。

具体的な取組

○定期的な情報共有と実態把握

状況に応じながら、情報交換会を実施し、担任と学年、コーディネーター、支援員及び管理職と情報共有を行っている。特に、担任と支援員は、日々の情報共有を充実することで、当該児童の様子に合わせて支援できるようにしている。

校内別室を利用している当該児童と、毎朝、一日の予定を確認することで、見通しをもって過ごせるようにしている。

○保護者との連携

校内別室を利用する際は、当該児童や保護者と過ごし方や今後の方向性等を共有している。

送迎に来た際や電話等で、今日の予定や前日の様子について、当該児童の様子を共有している。

○児童の実態に応じた学習指導

担任と連携を図りながら、学習状況や当該児童の実態に合わせた学習指導を実践している。

書道や図工などの専科教科については、必要に応じて、担任や専科教員が当該児童への指導を実施している。

毎朝、支援員は、当該児童と一日の予定を確認しながら、その日実施する学習内容を決定している。

○衛生的な教室環境の構築

当該児童を含め、小学校1年生から6年生までの児童が気持ち良く生活するために、整理整頓と清掃に力を入れている。

利用している児童の実態に応じて、教室のレイアウトを柔軟に変更している。

成果

学級に入ることができなくても、校内別室に登校することができた。当該児童にとって、校内別室が安心できる居場所となっている。心のエネルギーの充電後は、学級に戻ることができた。

課題

支援員と当該児童の信頼関係の更なる構築を図り、一人一人の児童に応じた更なるきめ細やかな指導・支援の充実につなげていく。